ASTRO BOD FAST

ANSI / ASSP : Z359.11 [2021]
Z459.1 [2021]

Full-body fall arrest and positioning harness.
Harnais complet d'antichute et de positionnement.

WARNING / ATTENTION

Activities involving the use of this equipment are inherently dangerous.
You are responsible for your own actions and decisions.

Before using this equipment, you must:
- Read and understand all Instructions for Use.
- Get specific training in its proper use.
- Become acquainted with its capabilities and limitations.
- Understand and accept the risks involved.

FAILURE TO HEED ANY OF THESE WARNINGS MAY RESULT IN SEVERE INJURY OR DEATH.

Les activités impliquant l'utilisation de cet équipement sont par nature dangereuses.
Vous êtes responsable de vos actes, de vos décisions et de votre sécurité.

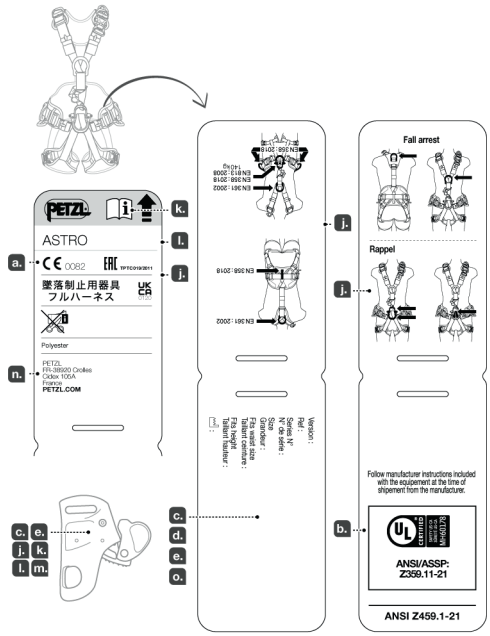
Avant d'utiliser cet équipement, vous devez :
- Lire et comprendre toutes les instructions d'utilisation.
- Vous former spécifiquement à l'utilisation de cet équipement.
- Vous familiariser avec votre équipement, apprendre à connaître ses performances et ses limites.
- Comprendre et accepter les risques induits.

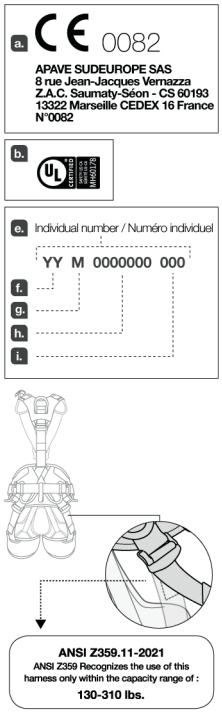
LE NON-RESPECT D'UN SEUL DE CES AVERTISSEMENTS PEUT ÊTRE LA CAUSE DE BLESSURES GRAVES OU MORTELLES;

PETZL
FR-38920 Crolles
Cidex 105A
PETZL.COM
ISO 9001
© Petzl

Fondation PETZL — Sustaining our Community / Au service de la Communauté — **FONDATION-PETZL.ORG**

Traceability and markings / Traçabilité et marquage



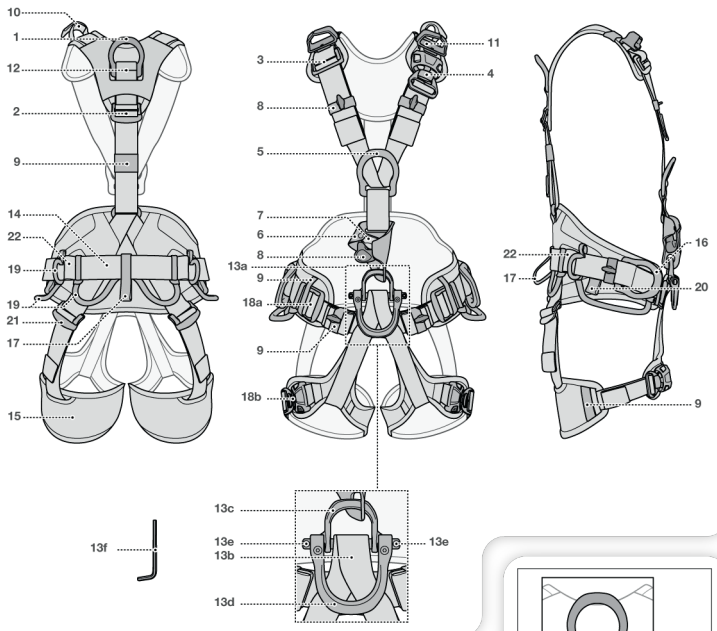


PETZL.COM — Latest version / Dernière version — Other languages / Autres langues — Technical tips / Conseils techniques — PPE checking / Fiche de contrôle EPI

Warning symbols / Panneaux d'alertes (1) (2) (3) (4)

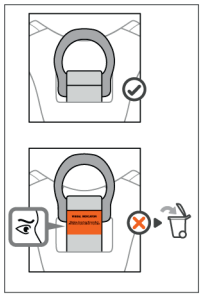
1. Field of application / Champ d'application

2. Nomenclature

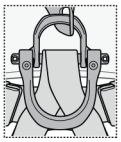


3. Inspection, points to verify / Contrôle, points à vérifier

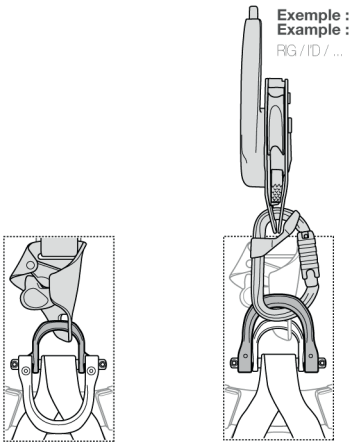
PPE checking / Vérification EPI
PETZL.COM



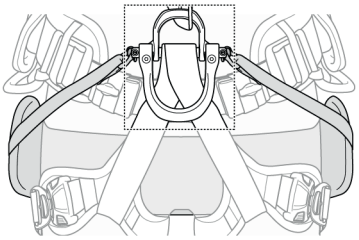
4. Compatibility (text part) / Compatibilité (partie texte)



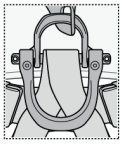
Gated ventral attachment point / Point d'attache ventral ouvrable



PODIUM

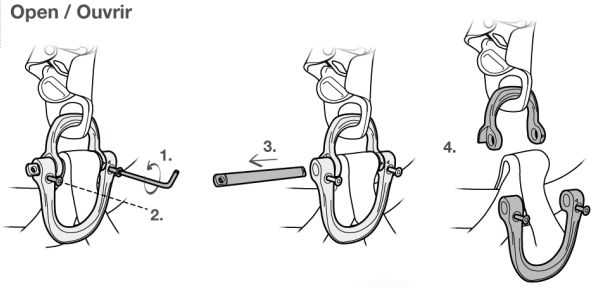


5. How to put the harness on
Mise en place du harnais

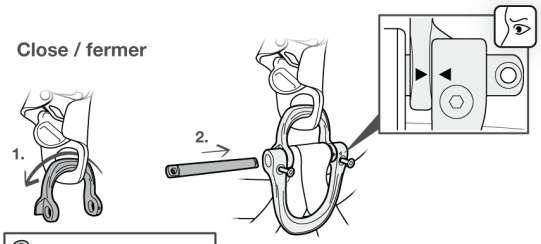


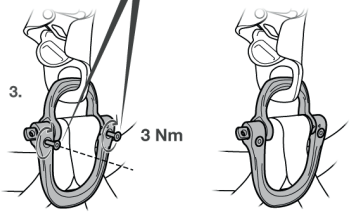
Gated ventral attachment point /
Point d'attache ventral ouvrable

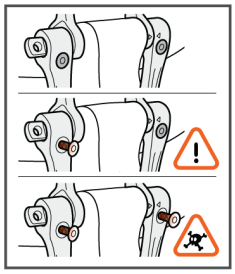
Open / Ouvrir

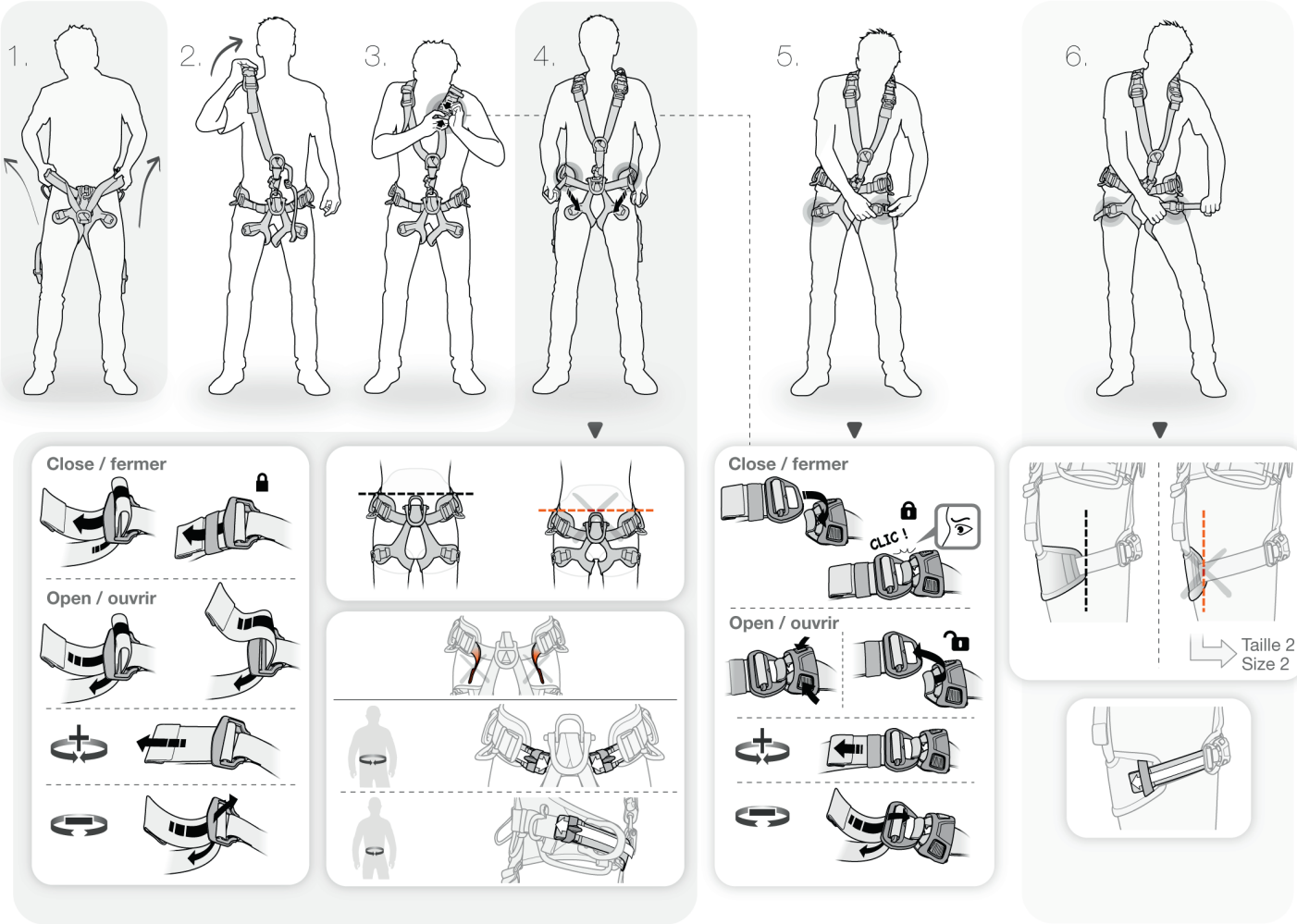


Close / fermer

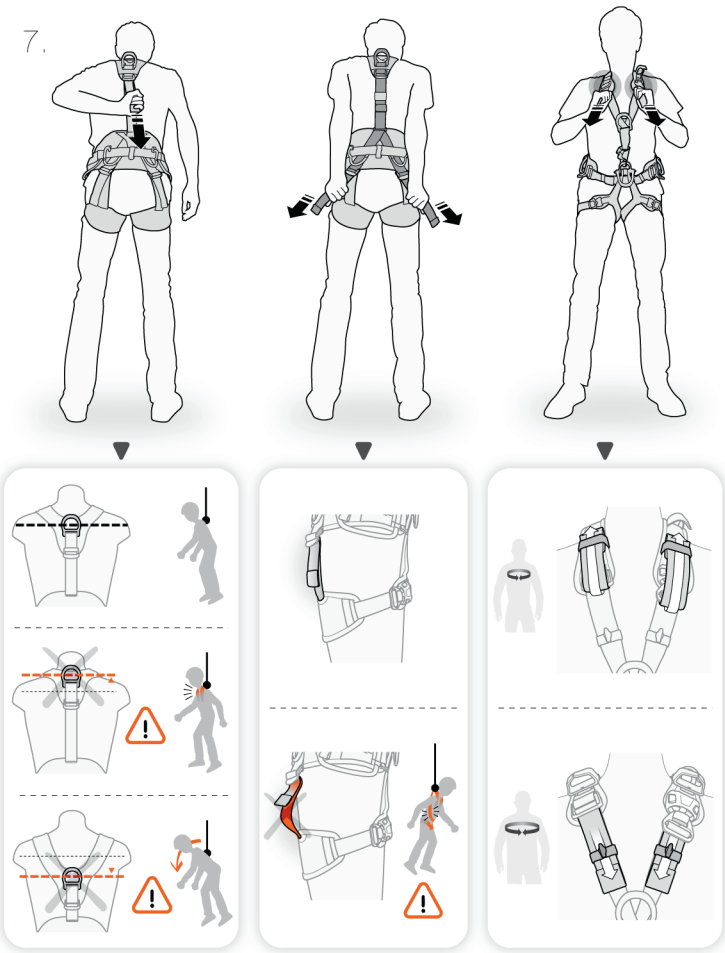




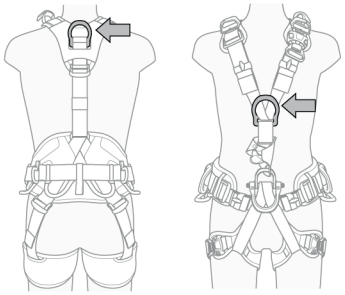




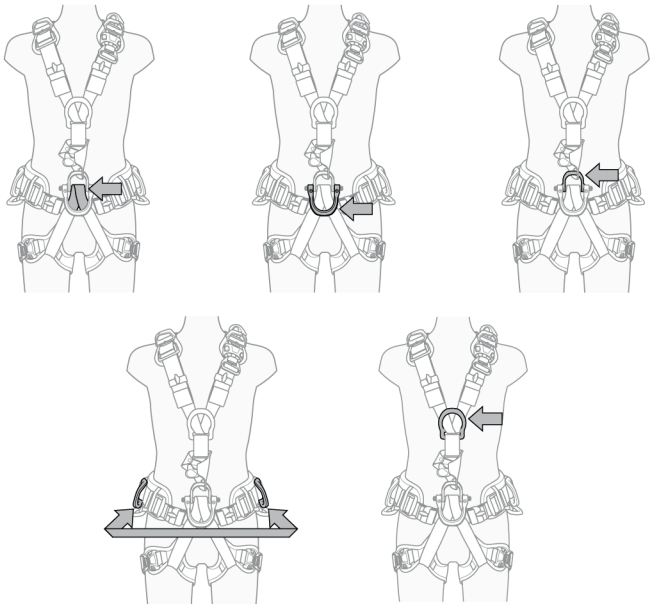
5. How to put the harness on
Mise en place du harnais



6. Fall arrest harness
Harnais d'antichute

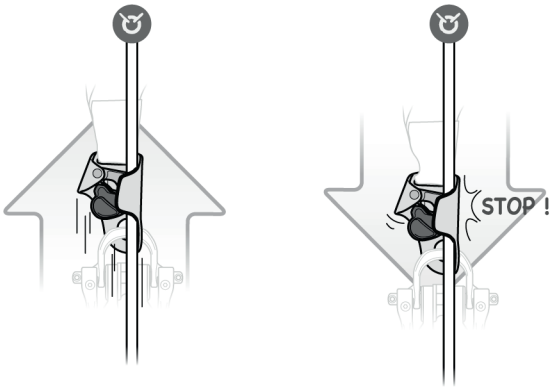


7. Positioning and travel restraint harness
Harnais de positionnement et de retenue

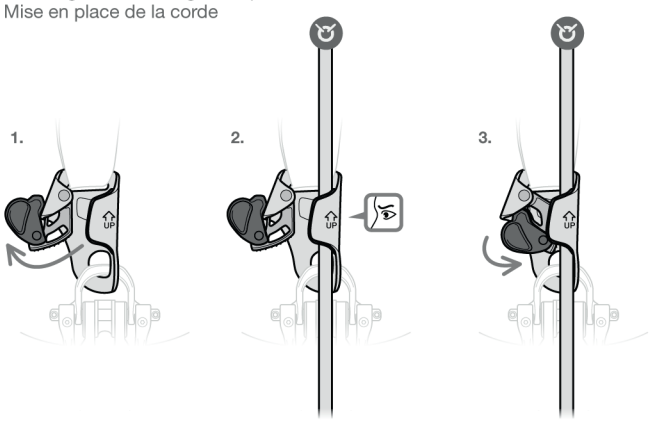


8. CROLL L ventral rope clamp
Bloqueur ventral CROLL L

Function principle and test
Principe et test de fonctionnement

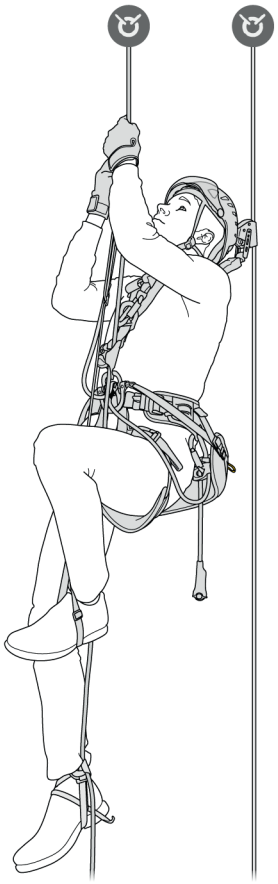


Installing and removing the rope
Mise en place de la corde

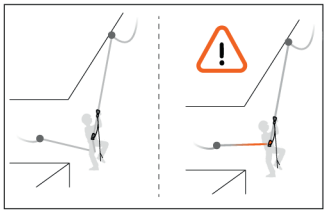


8. CROLL L ventral rope clamp
Bloqueur ventral CROLL L

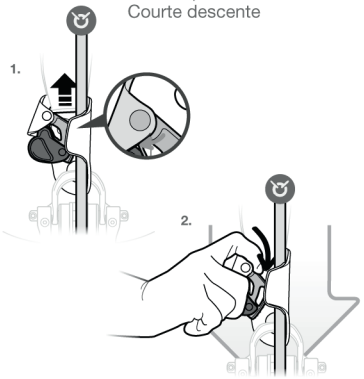
Rope ascending
Remontée sur corde

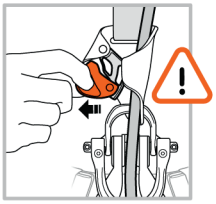


Angled traverse situation
Cas de traversée en oblique

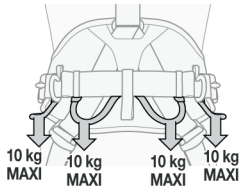


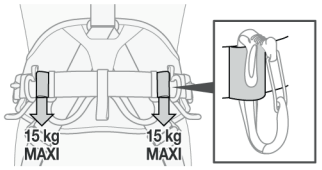
Short rope descent
Courte descente

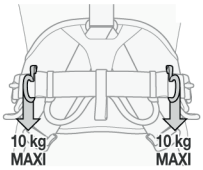




9. Equipment loops
Porte-matériels

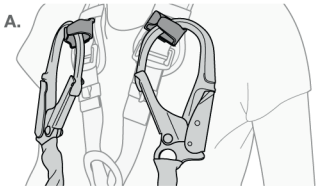


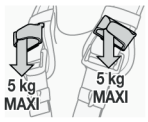


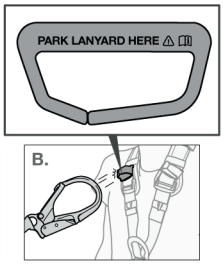


Velcro keeper /
Passant Velcro

10. Lanyard connector parking
Porte-connecteurs de longe d'antichute

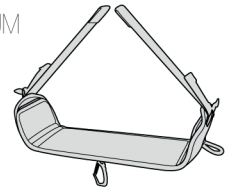




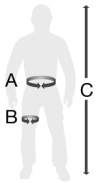


11. Accessories
Accessoires

PODIUM



Shackles for PODIUM seat
Manilles pour sellette PODIUM



	A	B	C
Taille 0	65 - 80 cm 26 - 31 inch	44 - 59 cm 18 - 23 inch	160 - 180 cm 63 - 70 inch
Taille 1	70 - 93 cm 28 - 36 inch	47 - 62 cm 19 - 24 inch	165 - 185 cm 65 - 72 inch
Taille 2	83 - 120 cm 33 - 46 inch	50 - 65 cm 20 - 25 inch	175 - 200 cm 69 - 78 inch

12. ANSI additional information (text part)
Informations complémentaires ANSI (partie texte)

13. Additional information
Informations complémentaires

A. Lifetime / Durée de vie

B. Markings
Marquage

C. Acceptable T°
T° tolérées

D. Precautions for use / Précautions d'usage

E. Cleaning - Disinfection / Nettoyage - Désinfection

F. Drying / Séchage

G. Storage - Transport
Stockage - transport

I. Modifications - Repairs
Modifications - Réparations

J. FAQ - Contact
Questions - Contact

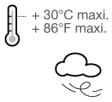
A. Lifetime / Durée de vie

C. Acceptable T°
T° tolérées

D. Precautions for use / Précautions d'usage

E. Cleaning / Nettoyage

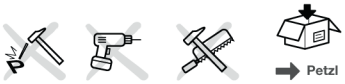
F. Drying / Séchage



G. Storage - Transport
Stockage - transport

H. Maintenance
Entretien

I. Modifications - Repairs
Modifications - Réparations



J. FAQ - Contact
Questions - Contact

JP

本書では、製品の正しい使用方法を説明しています。技術や使用方法については、いくつかの例のみを掲載しています。
製品の使用に関連する危険については、警告のマークが付いています。ただし、製品の使用に関連する危険の全てをここに網羅することはできません。最新の情報や、その他の補足情報等は Petzl.com で参照できますので、定期的に確認してください。
警告および注意事項に留意し、製品を正しく使用する事は、ユーザーの責任です。本製品の誤った使用は危険を増加させます。疑問点や不明な点は (株) アルテリア (TEL 04-2968-3733) にご相談ください。

1.用途

本製品は墜落からの保護を目的として使用する個人用保護具 (PPE) です。
チェストアッセンダー CROLL L 付属、ゲート付腹部アタッチメントポイント付ロープアクセス用ハーネスです。最大使用荷重: 140 kg
本製品の限界を超えるような使用をしないでください。また、本来の用途以外での使用はしないでください。

責任

警告
この製品を使用する活動には危険が伴います。
ユーザー各自が自身の行為、判断、および安全の確保についてその責任を負うこととします。
使用する前に必ず:
- 取扱説明書をよく読み、理解してください
- この製品を正しく使用するための適切な指導を受けてください
- この製品の機能とその限界について理解してください
- この製品を使用する活動に伴う危険について理解してください

これらの注意事項を無視または軽視すると、重度の傷害や死につながる場合があります。
この製品は使用方法を熟知していて責任能力のある人、あるいはそれらの人から目の届く範囲で直接指導を受けられる人のみ使用してください。
ユーザー各自が自身の行為、判断、および安全の確保について責任を負い、またそれによって生じる結果についても責任を負うこととします。各自で責任がとれない場合や、その立場にない場合、また取扱説明書の内容を理解できない場合は、この製品を使用しないでください。

2.各部の名称

チェストハーネス:
(1) 背部アタッチメントポイント、(2) 背部アタッチメントポイント調節バックル、(3) ショルダーストラップ調節バックル、(4) ショルダーストラップ調節 FAST バックル、(5) 胸部アタッチメントポイント、(6) チェストアッセンダー CROLL L、(7) カム、(8) セーフティキャッチ、(9) 伸縮性ストラップリテイナー、(10) マジックテープ式 ASAP'SORBER 用リテイナー、(11) フォールアレスト用ランヤードのコネクターホルダー、(12) フォールインジケーター
シットハーネス:
(13a) ゲート付腹部アタッチメントポイント、(13b) 繊維製アタッチメントポイント、(13c) 金属製 D 型 アタッチメントポイント S、(13d) 金属製 D 型 アタッチメントポイント L、(13e) 作業用シート取付用アタッチメントポイント、(13f) 六角レンチ、(14) ウエストベルトストラップ、(15) レッグループ、(16) 側部アタッチメントポイント、(17) 後部レストレイン用アタッチメントポイント、(18a) ストラップ用 DOUBLEBACK PLUS 調節バックル、(18b) レッグループ用 FAST LT バックル、(19) ギアループ、(20) ギアバッグ TOOLBAG 取付用スロット、(21) レッグループとウエストベルトをつなぐストラップ用 DOUBLEBACK 調節バックル、(22) ツールホルダー CARITOOL 取付用スロット
主な素材:
- ストラップ: ポリエステル、調節バックル: スチール、腹部アタッチメントポイント: アルミニウム合金およびステンレススチール
- CROLL L: フレーム: アルミニウム合金、カム: ステンレススチール

3.点検のポイント

器具の状態は、ユーザーの安全に大きく関係します。
ペツルは、十分な知識を持つ適任者による詳細点検を、少なくとも 12 ヶ月ごとに行うことをお勧めします (国や地域における法規や、使用状態によっても変わります)。警告: 使用頻度によっては、より頻繁に個人用保護具 (PPE) を点検する必要があります。Petzl.com で説明されている方法に従って点検してください。個人用保護具 (PPE) の点検結果を点検フォームに記録してください: 種類、モデル、製造者の連絡先、個別番号、製造日、購入日、初回使用時の日付、次回点検予定日、問題点、コメント、点検者の名前および署名。

毎回、使用前に

ハーネス
ウェビングのアタッチメントポイント部分、調節バックル部分、および縫製部分を点検してください。縫製部分が切れたりゆるんだりしていないことを特に注意して確認してください。
使用による切れ目や磨耗、熱や化学物質等による損傷がないことを確認してください。DOUBLEBACK バックル、DOUBLEBACK PLUS バックルおよび FAST バックルが正常に機能することを確認してください。
フォールインジケーターを点検してください。背部アタッチメントポイントに 400 daN を超える衝撃荷重がかかると、赤いインジケーターが見えます。
フォールインジケーターが見えているハーネスは、廃棄してください。

ゲート付腹部アタッチメントポイント
製品に亀裂や変形、腐食等がないことを確認してください。スクリューが取り付けられていることを確認してください。スクリューがしっかり締まっていることを確認してください (正しく取り付けられ、ゆるみがないこと等)。

CROLL L
製品にひび割れ、変形、傷、磨耗、腐食等がないことを確認してください。
フレーム、アタッチメントホール、カム、セーフティキャッチ、スプリング、カムの軸の状態を確認してください。
カムの動きとスプリングの状態に問題がないことを確認してください。
カムの歯に泥等が詰まっていないことを確認してください。

使用中の注意点
調節バックルがしっかりと締められていることを常に確認してください。
この製品および併用する器具 (連結している場合は連結部を含む) に常に注意を払い、状態を確認してください。全ての構成器具が正しくセットされていることを確認してください。

4.適合性

この製品がシステムの中のその他の器具と併用できることを確認してください (併用できる = 相互の機能を妨げない)。
本製品と併用する器具は、使用する国における最新の規格に適合していなければなりません (例: ヨーロッパにおけるコネクターの規格 EN 362)。

5.ハーネスの装着および調節方法

- 余分なストラップは必ず折って平らにした状態で伸縮性リテイナーにしまってください
- FAST バックルの機能を妨げる可能性があるため、小石、砂、衣服等が挟まらないように注意してください。調節バックルが正しく締められていることを確認してください (図参照)

ゲート付腹部アタッチメントポイント
このアタッチメントポイントには複数の器具を連結可能です: ピンには作業用シート PODIUM、D 型アタッチメントポイント S にはチェストアッセンダー CROLL L、D 型アタッチメントポイント L には下降器。
２本のスクリューが取り付けられていることを確認してください。
器具が正しく機能するには、スクリューを正しく取り付け、指定のトルクで締める必要があります。トルクレンチの使用によってのみ、トルク値が正しいことを確認することができます。
取り付けおよび取り外しの際は、説明書に正確に従ってください: 矢印を参照してください。ピンを外す際、スクリューを完全に取り外す必要はありません。スクリューを紛失した場合は、(株) アルテリアにご相談ください。

背部アタッチメントポイント位置の調節
体型にあわせて、背部アタッチメントポイントの位置を肩甲骨の位置と同じ高さになるように調節してください。
警告: 背部アタッチメントポイントを使用する場合は、レッグループとウエストベルトをつなぐ後部ストラップの調節が重要です。

調節の確認
墜落の際に怪我をする危険を低減するため、ハーネスは体にぴったりとフィットするよう調節してください。
ハーネスが正しくフィットし、使用目的に見合う快適性が得られることを必ず確認してください。ハーネスを装着した状態で動いたり、装備を全て装着した状態で各アタッチメントポイントから吊り下がり、適切に調節されていることを確認してください。

6.フォールアレスト用ハーネス

背部または胸部アタッチメントポイントは、必ず最新の規格に適合したフォールアレストシステムに連結してください。
モバイルフォールアレスターやエネルギーアブソーバー等のフォールアレストシステムに接続することができるのは、これらのアタッチメントポイントのみです。墜落を止める際、アタッチメントポイントは伸長します。クリアランスを計算する時は、この伸び (最大約 0.6 m) を考慮する必要があります。墜落距離に関係するコネクターの長さも考慮して、必要なクリアランスを計算してください。

7.ポジショニングとレストレイン用ハーネス

腹部または胸部アタッチメントポイントおよびウエストベルトの側部アタッチメントポイントは、吊り下がった状態で体を支えて作業位置で安定した体勢をとる (ポジショニング)、または墜落の可能性がある場所にユーザーが侵入できないよう行動範囲を制限する (レストレイン) ために使用します。
腹部または側部アタッチメントポイントは、フォールアレストの目的で使用することはできません。
ウエストベルトの快適なサポート性を得るため、必ず両側部のアタッチメントポイントをワークポジショニング用ランヤードで連結して使用してください (U 字吊り)。
ランヤードは常にたるみのない状態を維持してください。

8.チェストアッセンダー CROLL L

CROLL L はロープ登高用アッセンダーです。CROLL L はフォールアレスト用の用具ではありません。

許容されるロープの直径
直径 10 ～ 13 mm セミスタティックロープ (コア + シース)。

機能の原理と確認
この製品はロープ登高に使用します。ロープ上を一方向にスライドし、反対方向にはロックします。
カムの歯がロープを噛むことにより、フレームとの間でロープを挟んでロックします。ロープに付いた泥等によるつまりを防ぐために、カムにはスロットがあります。

ロープの取り付けと取り外し
カムを開くには、セーフティキャッチを親指と人差し指でつまみ、カムから離しながら引いて、右側の本体部分にひっかけます。これでカムが開いた状態でロックされます。
ロープを挿入します。上下の向きを示すマーキングを確認してください。セーフティキャッチを戻し、カムがロープを押さえていることを確認してください。セーフティキャッチは不意にカムが解除されるのを防ぎます。
ロープから取り外すには、器具を上にスライドさせながらセーフティーキャッチを引き、カムを解除してください。

ロープ登高
CROLL L とフットループを取り付けた別のロープクランプ (BASIC 等) を使用します。必ず別のロープクランプとハーネスを適切なランヤードで連結してください。

斜めにトラバースする場合
ロープが斜めになっている箇所で登り始める時は、ロープをまたいで、ロープが CROLL L に対して平行に流れるようにしてください。

短い距離の下降
器具をゆっくりと上にスライドさせながら人差し指でカムを下に押してください。その際、指を挟まないよう注意してください。セーフティキャッチは操作しないでください。不意にカムを解除してしまう危険があります。
警告: 体重が 100 kg を超えるユーザーが使用する場合は、ペツルのウェブサイト (Petzl.com) で Solutions for workers over 100 kg を確認してください。

9.ギアループ

ギアループは用具を携行 / 整理する目的でのみ使用してください。
警告、危険: ギアループは、ビレイ、懸垂下降、ロープの連結、自己確保には絶対に使用しないでください。
マジックテープ式リテイナーは、モバイルフォールアレスターに連結されたエネルギーアブソーバーを高い位置に維持するために使用できます。

10.フォールアレスト用ランヤードのコネクターホルダー

A.ランヤード先端のコネクターをクリップする以外の用途で使用しないでください。
B.このコネクターホルダーにダブルランヤードの片方のコネクターをクリップした状態で墜落をしても、エネルギーアブソーバーの伸長を妨げません。
警告: このアタッチメントポイントは、フォールアレスト用アタッチメントポイントではありません。

11.アクセサリー

作業用シート PODIUM および PODIUM 用シャックル。

12.ANSI 規格に基づく補足情報

- 取扱説明書は、製品と一緒にユーザーに提供されなければなりません
- 併用する全ての用具の取扱説明書をよく読み、理解してください
- レスキュープラン: ユーザーは、この製品の使用中に問題が生じた際にすみやかに対処できるよう、レスキュープランとそれに必要となる装備をあらかじめ用意しておく必要があります
- 警告: 複数の器具を同時に使用する場合、1 つの器具の安全性が、別の器具の使用によって損なわれることがあります
- 警告: ハーネスは、化学物質や熱、腐食、紫外線によって損傷することがあります。器具の状態に疑問がある場合、(株) アルテリア (TEL: 04-2968-3733) にご相談ください
- 電源や稼動中の機械類の近く、表面がざらざらしている、または尖ったものの近くで作業する場合は十分注意してください

13.補足情報

廃棄基準:
警告: 極めて異例な状況においては、1 回の使用で損傷が生じ、その後使用不可能になる場合があります (劣悪な使用環境、海に近い環境での使用、鋭利な角との接触、極端な高 / 低温下での使用や保管、化学薬品との接触等)。
以下のいずれかに該当する製品は以後使用しないでください:
- プラスチック製品または繊維製品で、製造日から 10 年以上経過した
- 大きな墜落を止めた、あるいは非常に大きな荷重がかかった
- 点検において使用不可と判断された。製品の状態に疑問がある
- 完全な使用履歴が分からない
- 該当する規格や法律の変更、新しい技術の発達、また他の器具との併用に適さない等の理由で、使用には適さないと判断された

このような製品は、以後使用されることを避けるため廃棄してください。

アイコン:
A.耐用年数: 10 年 - B.マーキング - C.使用温度 - D.使用上の注意 - E.クリーニング / 消毒 - F.乾燥 - G.保管/持ち運び - H.メンテナンス - I.改造/修理 (パーツの交換を除き、ペツルの施設外での製品の改造および修理を禁じます) **- J.問い合わせ**

３年保証
原材料および製造過程における全ての欠陥に対して適用されます。以下の場合は保証の対象外とします: 通常の磨耗や傷、酸化、改造や改変、不適切な保管方法、メンテナンスの不足、事故または過失による損傷、不適切または誤った使用方法による故障。

警告のマーク
1.重傷または死につながるおそれがあります。2.事故や怪我につながる危険性があります。3.製品の機能や性能に関する重要な情報です。4.してはいけない内容です。

トレーサビリティとマーキング
a.この個人用保護具の製造を監査する公認機関の ID 番号 - b.認証機関 - c.トレーサビリティ: データマトリクスコード - d.サイズ - e.個別番号 - f.製造年 - g.製造月 - h.ロット番号 - i.個体識別番号 - j.規格 - k.取扱説明書をよく読んでください - l.モデル名 - m.最大使用荷重 - n.製造者住所 - o.製造日 (月 / 年)

付録 A - ANSI 規格

ANSI/ASSP Z359 規格におけるフルボディハーネスの適切な使用およびメンテナンスについての要求事項
注意: これらは、ANSI/ASSP Z359 規格に基づく情報および一般的要求事項です。この用具を製造するメーカーにより、使用についてより厳格な規定が適用される可能性があります。メーカーの取扱説明書を参照してください。
1.これらの用具を使用するユーザーは、それぞれの作業環境において用具を安全に使用する詳細な手順を含む適切な訓練および教育を受けている必要があります。墜落防止計画の管理に関する最低要件を定める ANSI/ASSP Z359.2 規格は、雇用者による墜落防止計画の管理について、次の項目を含むガイドラインおよび要求事項を定めています: 方針、任務と訓練、墜落防止の手順、墜落の危険性の排除または管理、レスキューの手順、事故調査、管理方法の有効性の評価。
2.製品を適切に使用するためには、フルボディハーネスを正しく装着する必要があります。ユーザーは、正しいサイズを選択し、フルボディハーネスを常に適切に装着できるように教育を受けている必要があります。
3.ハーネスの適切な装着およびサイズ選択については、メーカーの取扱説明書に従う必要があり、特に次の点に注意する必要があります: バックルが正しく連結されていること、レッグループおよびショルダーストラップが常に適切に調節されていること、チェストストラップが胸部の中心にくること、墜落した際にレッグループが生殖器に干渉しないように適切に調節されていること。
4.ANSI/ASSP Z359.11 規格に適合したフルボディハーネスは、最大衝撃荷重を 8 kN 以下に抑える個人用フォールアレストシステムを構成する他の用具と併せて使用してください。
5.深刻な症状を起こす起立失調 (サスペンショントラウマ等とも呼ばれます) は、ハーネスの適切なデザイン、迅速な救助、宙吊り状態での荷重を分散する用具により抑制することができます。作業員に意識がある場合、宙吊り状態での荷重を分散する用具を使用することにより、脚にかかっている圧力を開放し、血流を良くすることで、起立失調の発症を遅らせることができます。アタッチメントポイントを延長するためのランヤード (D リングエクステンション) は、支点や支点に取り付けられたコネクターに直接連結するためのものではありません。墜落時の最大衝撃荷重を 8 kN 以下に抑えるために、エネルギーアブソーバーを使用する必要があります。D リングエクステンションの長さは、墜落距離およびクリアランスの計算に影響します。
6.墜落時にフルボディハーネスを含むフォールアレストシステムを構成する用具が伸び、変形することにより、墜落停止時のシステム全体の伸長が大きくなります。フォールアレストシステムにおいて必要なクリアランスを計算するためには、フルボディハーネス自体の伸び、コネクターの長さ、ハーネス装着時の身体の位置やその他の要素により、落下距離が長くなることを考慮する必要があります。
7.フルボディハーネスのアタッチメントポイントに連結されたランヤードのアームは、適任者およびメーカーによって認められていない限り、その他のアタッチメントポイント等、フルボディハーネスを構成するパーツにクリップしてはいけません。これは、Y 字型ランヤードを使用する際に特に重要です。使用していない側のアームの先端を、ハーネスのその他のアタッチメントポイント等にクリップした状態で墜落した場合、エネルギーアブソーバーの伸長が妨げられ、許容の範囲を超える衝撃荷重がユーザーに加わる危険があります。使用していないアームの先端をクリップしておくための専用ループは、つまづいたり、絡まったりする危険を抑えるため、通常胸部の位置に取り付けられています。
8.ストラップの先端が余っていると、機械類に巻き込まれたり、偶発的に調節バックルが外れたりする危険があります。全てのフルボディハーネスは、ストラップの余った先端を収納するためのリテイナー等を備えている必要があります。
9.柔軟性のあるループ状のアタッチメントポイントは、その性質上、柔軟性のあるループもしくはカラビナと連結することを推奨します。メーカーによってその使用が認められていない限り、スナップフックの使用は推奨しません。

このフルボディハーネスの各アタッチメントポイントの位置および使用に関する補足情報については、10-16 に記載されています。

10.背部
使用用途によって他のアタッチメントポイントの使用が認められている場合を除き、フォールアレストにおいては、基本的に背部アタッチメントポイントを使用してください。背部アタッチメントポイントは、レストレインやレスキューでも使用できます。墜落時に背部アタッチメントポイントによって吊り下がった場合、フルボディハーネスのデザインにより、荷重はユーザーを支えているショルダーストラップおよび大腿部周辺に分散されます。墜落後、背部アタッチメントポイントにより吊り下がっている場合、ユーザーの上体はわずかな前傾姿勢を保ち、胸部の下が若干圧迫されます。スライド式もしくは固定式の背部アタッチメン

トポイントのいずれかを選択するかについては、検討を要します。スライド式背部アタッチメントポイントは、通常ユーザーの体形に合わせた位置調節が容易で、また墜落後に身体をより真っ直ぐな状態に保ちますが、フルボディハーネスの伸びは増加します。

11.胸部

背部アタッチメントポイントの使用が適任者により不適切と判断された場合や、必ず足から墜落することが想定される場合、胸部アタッチメントポイントをフォールアレストの目的で使用することができます。胸部アタッチメントポイントの実用的な使用は、次のものを含みますが、これらに限定されません: 安全ブロックを使用しての梯子の登下降、ワークポジショニングおよびロープアクセス。胸部アタッチメントポイントは、レストレインやレスキューでも使用できます。
墜落時に胸部アタッチメントポイントによって吊り下がった場合、フルボディハーネスのデザインにより、荷重はユーザーを支えているショルダーストラップおよび大腿部周辺に分散されます。
墜落後、胸部アタッチメントポイントにより吊り下がった場合、ユーザーの身体はおおよそ座ったような姿勢となり、大腿部、臀部、背中の下部に荷重がかかります。
胸部アタッチメントポイントをワークポジショニングに使用する場合、ユーザーの身体はおおよそ上体が起きた状態となります。
胸部アタッチメントポイントをフォールアレストの目的で使用する場合、適任者は使用方法の評価を行い、必ず足から墜落するように対策をとる必要があります。許容落下距離を抑えるための対策も必要です。
胸部アタッチメントポイントが調節型チェストストラップに取り付けられている場合、墜落の際や吊られた際にチェストストラップが上部にスライドし、ユーザーの首が締めつけられる可能性があります。このような状況が想定される場合、適任者は固定式の胸部アタッチメントポイントを採用したフルボディハーネスの選択を検討する必要があります。

12.腹部

腹部アタッチメントポイントは、必ず足から墜落することが想定される場合にスライド式フォールアレスターと連結して梯子の登下降に使用したり、ワークポジショニングの目的で使用したりすることができます。
腹部アタッチメントポイントを使用した場合、墜落後やワークポジショニングの際、ユーザーは上半身が起きて座った姿勢となり、大腿部と臀部に荷重がかかります。腹部アタッチメントポイントによって吊り下がった場合、フルボディハーネスのデザインにより、荷重は大腿部周辺にかかります。また、骨盤周辺のストラップにより、臀部にも分散されます。
腹部アタッチメントポイントをフォールアレストの目的で使用する場合、適任者は使用方法の評価を行い、必ず足から墜落するように対策をとる必要があります。許容落下距離を抑えるための対策も必要です。

13.ショルダーストラップ

ショルダーアタッチメントポイントは、2 つのポイントを合わせて使用する必要があります。レスキュー、下降、吊り上げ用のアタッチメントポイントとして使用可能です。ショルダーアタッチメントポイントは、フォールアレストの目的では使用できません。ショルダーアタッチメントポイントから吊り下がる場合、左右のショルダーストラップの間隔を維持するために、スプレッダーを併用することを推奨します。

14.腰部および後部

腰部および後部アタッチメントポイントは、レストレインの目的でのみ使用できます。腰部および後部アタッチメントポイントは、フォールアレストの目的では使用できません。どのような状況においても、腰部および後部アタッチメントポイントをレストレイン以外の用途に使用できません。腰部および後部アタッチメントポイントは、ユーザーのウエストから受ける小さな荷重にのみ対応します。ユーザーの全体重を支える使用はできません。

15.側部

側部アタッチメントポイントは、ワークポジショニング専用で、2 つのポイントを合わせて使用する必要があります。側部アタッチメントポイントは、フォールアレストの目的では使用できません。側部アタッチメントポイントは、アーボリスト、鉄塔を登る高所作業者、および型枠・鉄筋工事を行う建設作業者用のワークポジショニングの目的で多く使用されます。使用していないフォールアレスト用ランヤードのアームの先端を、側部アタッチメントポイントにクリップすることは推奨しません (フルボディハーネスのその他の硬いポイントについても同様)。つまづく危険や、Y 字型のランヤードの場合には、墜落の際にエネルギーアブソーバーの伸長が妨げられ、許容の範囲を超える衝撃荷重がユーザーに加わる危険があります。

16.作業用シート

作業用シートを取り付けるためのアタッチメントポイントは、ワークポジショニング専用で、2 つのポイントを合わせて使用する必要があります。作業用シートを取り付けるためのアタッチメントポイントは、墜落を止める目的では使用できません。作業用シートを取り付けるためのアタッチメントポイントは、2 つのポイントに作業用シートを連結し、ユーザーが座ることができるため、吊り下がった状態で長時間作業する場合に多く使用されます。例として、ビルの窓ガラス清掃作業での使用が挙げられます。

ユーザーによる用具の点検、メンテナンスおよび保管

フォールアレストシステムを使用するユーザーは、用具の点検、メンテナンスおよび保管について、少なくともメーカーの取扱説明書に定められた要求事項を守る必要があります。ユーザーが所属する組織は、メーカーの取扱説明書を保管し、全てのユーザーがいつでも参照できるようにしなくてはなりません。墜落防止計画の管理に関する最低要件を定める ANSI/ASSP Z359.2 規格における、ユーザーによる用具の点検、メンテナンスおよび保管に関する内容をご参照ください。
1.メーカーの取扱説明書に定められた点検についての要求事項に加え、毎回使用前にユーザーによる用具の点検が必要です。またユーザー以外の適任者により、1 年以内の間隔で次の項目の点検が必要です:
- マーキングが欠落したり、判読不能になっていないこと
- 用具の形状、装着感や機能に影響を与えるパーツの欠損がないこと
- 金属部分の欠陥や損傷を示す形跡、亀裂、鋭利な角、変形、腐食、化学薬品による損傷、過度な加熱、変更またはまたは過度の修正
- ストラップやロープに欠陥や損傷を示す形跡 (すり切れ、アイスプライスのほどけ、ほつれ、キンク、ノット、ねじれ、破損または引き延ばされた編み目、過度の伸び、汚れや摩耗、化学物質による損傷、変質、過度の潤滑または不足、経年劣化) がないこと
2.ユーザーが所属する組織は、用具の点検基準を定める必要があります。この点検基準は、ANSI/ASSP Z359 規格もしくはメーカーの定める要求事項と同等、もしくはそれ以上に厳格である必要があります。
3.点検によって用具の欠陥、損傷、メンテナンスの不足が見つかった場合、その用具は廃棄するか、再使用する前に用具のメーカーや代理者により適切なメンテナンスが行われる必要があります。

メンテナンスおよび保管

1.用具のメンテナンスおよび保管は、ユーザーが所属する組織によりメーカーの取扱説明書に従って行われなければなりません。使用状況によって生じる個別の問題については、メーカーに問い合わせてください。
2.メンテナンスが必要もしくは予定されている用具については、「使用不可」と表示した上で隔離する必要があります。
3.周囲の環境 (例: 気温、光、紫外線、湿気、油、化学物質およびその蒸気等) から損傷を受けないように用具を保管しなければなりません。